

まつうら 農業委員会だより

第4号

平成19年9月1日発行

発行 松浦市農業委員会
編集 委員会だより編集委員会
TEL(0956)72-1111



“ガンバル”まつうら農業

山田 博明さん(鷹島町三里免)

[関連記事は6ページに掲載しています。]

● 主な内容 ●

	ページ
◆ 農業者年金……………	2
◆ 我が町の自慢-福島町ふるさと祭り-……	3
◆ 『声』-『心を豊かにする食農教育』-……	4
◆ 耕作放棄地解消5ヵ年計画実践事業…	5
◆ “ガンバル”まつうら農業……………	6

- 定例農業委員会の開催日は原則として毎月27日です。
- 農地転用申請受付期間は、原則として毎月8日から14日までです。
- 農地に関する相談事は、地元農業委員または農業委員会事務局へお尋ねください。

『老後の日』農業者年金大会 開催される!

去る平成十九年六月五日(火)、雲仙市で、長崎県農業者年金大会が開催されました。

『六月五日＝老後の日』を、農業者年金を考える日にするということ、全国で農業者年金加入者を十万人にしようという申し合わせがなされました。

松浦市からは、松浦市農業者年金受給者協議会より十四名、松浦市農業委員会から委員五名と事務局から二名の合計二十一名が参加しました。

『会員十万人の目標達成は、皆様の老後生活安定のためです。』

松浦市農業者年金受給者協議会

会長 松本 久



会員の皆様には、戦中戦後、激動の時代に遭遇され、大変ご苦勞様でした。

それだけに、仲間として悔いのない余生をと願うこの頃です。

農業に従事した方の老後の生活の安定と農業経営近代化のため、昭和四十六年に農業者年金制度が制定されましたが、農業も国際化の波に採まれ、農産物の自由化で価格は不安定、後継者不足となり、中山間農地の荒廃は拡大、イノシシの被害は、それに拍車をかけています。

農業者年金制度も実情に沿わなくなり、平成十四年一月に抜本的改正が行われ、特例脱退もあり、年金制度不信となり、少子高齢化による自然減と併せて会員の減少となりました。特に後継者不足は、加入推進確保の障害となっています。

認定農業者、家族経営協定締結等に、保険料助成の特典もある制度に改善されました。子や孫が親の面倒を見る保証は期待できないこの頃です。

農業委員、農協、農業者年金受給者協議会の密接な情報交換と連携によって、十万人目標達成をし、制度の安定を図ることで、皆様をお守りします。

『農業者年金』で ゆとりある老後を!

新年金は『農業者だけ』が加入できる農業者年金です。

年金は「湧き水」のようなものです。まわりの人が年金をもらっているのに、自分がもらえないで後悔することのないようにしたいものです。

5つのポイント

- ① 新制度の年金は、「積立方式」の長期的に安定した年金制度です。
- ② 国からの保険料助成がある唯一の政策年金です。
- ③ 八十歳までの保証が付いた終身年金です。
- ④ 将来の老後の設計に合わせ、自由に選べる保険料です。
- ⑤ 税制面で大きなメリット措置があります。

詳しいことはJAか農業委員会事務局までお気軽にお尋ねください。また、加入手続きはJAの各支店で行っております。

我が町の自慢

福島町ふるさと祭り



町民手作り参加の『福島町ふるさと祭り』を紹介します。

昭和六十年に行政が中心となり、日の浦の町公民館と福祉センターを会場に十

に、昭和六十二年からは、土曜日の行事として福島港海岸で和船櫓こぎ大会が加わりました。

また、平成七年には当時の松浦農協福島支店と和牛改良組合により松浦牛のバーベキューコーナーも始まり、遠方の親戚、佐賀県、福岡県からのお客様も年々多くなっております。

最近では、総合運動公園多目的グラウンド完成により、会場も一ヶ所、開催日も日曜日一日になり、中央会場では、福島特産の車えび、いりこ、コシヒカリ、商店のお買い物券が当たる抽選会、郷土芸能の出演があります。

一月中旬の土曜・日曜の二日間で始まりました。

農産物・加工品の展示品評会、商工会の出店、農協婦人部の地場野菜販売、町婦人会の食事コーナー、郷土芸能の出演

者の皆様のご苦勞もあり、子供達の踊りには感動しました。

海での和船櫓こぎ大会は、風が強い日は、なかなかゴール出来ないチームもあり、漕ぎ手も応援も盛り上がりります。



平成十九年開催の第二十二回福島町ふるさと祭りは、十一月四日(日)福島総合運動公園多目的グラウンドを会場として行われる予定です。

松浦市民の皆様、秋の楽しい一日をお過ごしに、福島町ふるさと祭りへおいで下さいませ。

町を挙げてお待ちしております。

(農業委員 田中 サナエ)



近年、『食育』という言葉が多く聞かれるようになりました。

食育のルーツは、古くは明治時代に遡り、ある著書の中には「体育も知育も更には才能もすべて食育の中にある」と記述してあります。

それは、命を育む食と命を大切にすることを育んでいくというものであり大事な意味を持っていると思います。

近年は、食育活動の大切さが叫ばれ農水省は食育活動支援事業で生協や卸売市場などに力を入れて評価できる成果を挙げており、また、教育の現場では子供達に農業を体験させ、給食に地場農産物の食材を導入するなど、食べ物の大切さを

取り入れた教育も進められ、更に地域では食生活改善推進「出来ることから始めよう家庭・地域での食育」の取り組みも始まりつつあります。

しかし、家庭では就労状況が変化（主婦の就労）し、食材から料理する内食は減少する傾向にあり、簡単に調理できる中食が習慣化してきたように思われます。また、食事時間に家族揃って会話を交わす機会も少なくなってきたと言われております。現実的に食育の普及は外部で進んでいますが、一般家庭での食育そのものは、浸透するには時間がかかりそうです。

農業者からのメッセージ

「心を豊かにする食農教育」

農業委員

増山 サエ子

「食育はどこで育むものか」「私たちができること

は何か」真剣に考える時が来たようです。

食育というテーマで家庭、学校、職場、地域で思いを語り、できることから始めたいものです。

「早寝・早起き・朝ごはんの重要性」

「食べ残すことのもったいなさ」「料理くずの有効利用」等、取り組む方向は

放射状にあると思います。

農業者の立場からは、農産物の安全、安心を核として新鮮で美味しい食材を供給することから始め、「食育教育」の一端を担い、地域に啓蒙活動普及したいと考えます。



星鹿保育所の園児達



農地パトロール風景

農地パトロールを実施!!

松浦市農業委員会では、農業委員会活動強化対策事業の一環として、農地の遊休・荒廃防止解消と無断転用防止等を目指し、農地パトロールを行いました。

昨年が農振・農用地区内の農地を中心にパトロールしたので、今年度は農振・農用地区外を、八月二日(火)に今福・調川地区、二二日(水)に志佐・上志佐地区、二三日(木)に御厨・星鹿地区の、転用許可後の進捗状況や無断転用及び耕作放棄地等を重点に点検・確認を行いました。

福島地区は十月一日(月)、鷹島地区は十月五日(金)を農地パトロールの予定としております。

耕作放棄地解消 5カ年計画実践事業開始

長崎県は、今後、農家の高齢化・後継者不足により農地の耕作放棄地が増えることを懸念し、解消すべき耕作放棄地を対象に農地の復旧活動や有効利用を促進する取り組みを支援する為、今年度より「耕作放棄地解消5カ年計画実践事業」を開始しました。

対象となる耕作放棄地は、農地として活用すべき遊休農地(要活用農地)で、
①耕作放棄地を引き受ける農業者に、復旧の初期費用として十^ルア^ア当たり三万円を助成する。

②地域の青年農業者や認定農業者で組織する「耕作放棄地復旧活動支援隊」が地域の合意で行う草払い等の復旧活動に十^ルア^ア当たり一万円を助成する。

という内容になっております。

二〇〇五年センサスで、県内の耕作放棄地は1万3千^{ヘクタール}で、県はこの事業で、5年間で1250^{ヘクタール}分の耕作放棄地解消を目指しています。

やめよう! 農地の無断転用

許可なく農地を転用する行為は農地法違反で、厳しい罰則が与えられます。
農地等の権利取得の効力を生じないだけでなく、県知事は工事の中止、原状回復を命ずることが出来ます。
これらに違反した場合は、三年以下の懲役または三百万円以下の罰金が科せられます。

農業経営の参考に! 全国農業新聞を読みませんか?

全国農業新聞は、農業者に愛読される農業総合専門雑誌です。

月4回の毎週金曜日到的な情報提供を行っておりますので、読んでみませんか。購読料は月六百円です。

お申し込みは、農業委員会事務局(分室) にお願ひします。

事務局 ○九五六〇七二一一一一
鷹島分室 ○九五五―四七―三一一
福島分室 ○九五五―四八―三一一



《表紙の紹介》

山田 博明さん 三十三歳

(高卒後、三十歳で就農した認定農業者)

《経営規模》

タバコ

二四〇アール

水稲

五〇 アール

スナップエンドウ

〇・八アール

労働力 三人

(博明さんと父母)

《趣味》 音楽鑑賞

高卒後、地元の方に勤めていたが、長男でもあるし、少しでも両親の軽減が出来たらという思いで就農いたしました。

現在は、タバコを二四〇アールと田んぼを五〇アールを耕作しています。

タバコは梅雨時が収穫なので、大変な重労働ですが、鷹島では百姓でお金になるのはタバコくらいしかありませんので、



(農業委員 山本鉄美)

今後とも、青年部の皆様と力を併せてタバコ作りに頑張りたいと思います。
今年から、タバコ青年部の副部長に任命されて、日々、大役に恥じないよう先輩方のアドバイスを受けながら、技術向上に努めています。

人事のお知らせ

平成十九年四月一日付で人事異動がありましたのでお知らせします。

鷹島支所市民福祉課長へ

伊藤 薫 (事務局局長)

今福支所長へ

井手 豊 (事務局参事)

福島支所総務管理課へ

川上 大輔 (事務局副主任)

事務局局長

永田 利道 (総務課主幹)

事務局主事

金福英一郎 (農林課主事)

新しい顔ぶれで頑張っていますので、よろしく願います

編集室から

毎日暑い日が続く中、農作業ご苦労さまです。

暑さで熱中症にかからないよう、水分を十分とって、無理しないようお願いを付け下さい。

これからも、農家の皆様に親しまれ、お役に立てる記事を考え、頑張りますので、よろしく願います。

(編集員一同)